

製品名: CEACAM6 (1P7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08617**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | 37kDa |

抗原情報

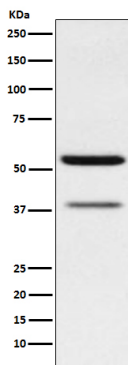
| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CEACAM6 |
| 別名 | CD66c; CEACAM6; CEAL; NCA; Non specific cross reacting antigen; Normal cross reacting antigen; |
| 遺伝子 ID | 4680.0 |
| SwissProt ID | P40199 |
| 免疫原 | ヒト CEACAM6 の組み換えタンパク質 |

背景

細胞の種類に依存せず、同型および異型の細胞間接着を媒介する。細胞接着および腫瘍の進行に関する細胞表面糖タンパク質 (PubMed:2803308, PubMed:2022629, PubMed:1378450, PubMed:8776764, PubMed:11590190, PubMed:10910050, PubMed:14724575, PubMed:16204051)。細胞間接着はカルシウムおよびフィブロネクチン非依存的に起こる (PubMed:2022629, PubMed:16204051)。CEACAM5 や CEACAM8 といった他の癌胎児性抗原関連細胞接着分子と同種親和性および異種親和性の細胞接着を媒介する (PubMed:2803308、PubMed:2022629、PubMed:8776764、PubMed:11590190、PubMed:16204051)。CEACAM8 との異種親和性相互作用は活性化好中球で起こる (PubMed:8776764)。サイトカイン活性化内皮細胞への好中球接着に関する (PubMed:1378450)。腫瘍の進行を促進することでがん遺伝子として作用し、細胞遊走、内皮細胞への細胞接着、および細胞浸潤を正に制御する (PubMed:16204051)。また、膵臓腺癌および大腸癌細胞のアノキスに対する耐性獲得を誘導することにより、転移カスケードプロセスにも関与しています (PubMed:10910050、PubMed:14724575)。

研究分野

画像データ



MCF7 細胞溶解物における CEACAM6 発現のウェスタン プロット分析。